



# 大久保小だより(学校評価号)

学校教育目標 ゆめに向かって かしこく やさしく たくましく

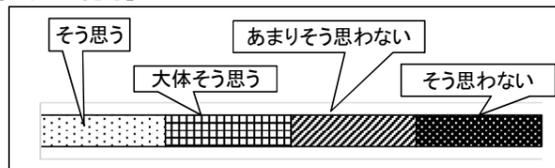
令和7年3月17日  
さいたま市立大久保小学校  
さいたま市桜区五関21  
048(854)7636

## 令和6年度学校評価集計結果報告

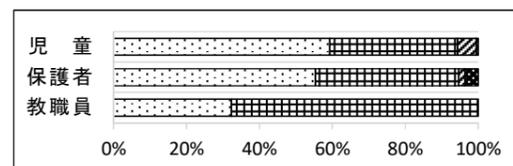
向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度御提出いただいた学校評価の集計結果を報告いたします。下記の評価結果を、全職員が真摯に受け止め、来年度の教育活動に活かしてまいります。御協力ありがとうございました。

校長 内野 多美子

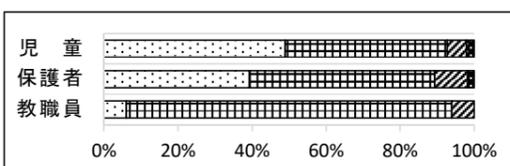
### 【グラフの見方】



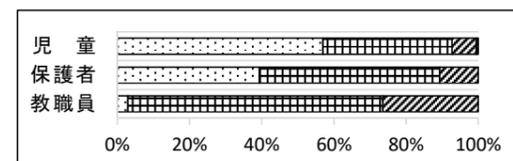
1 学校の生活が楽しいと感じている。



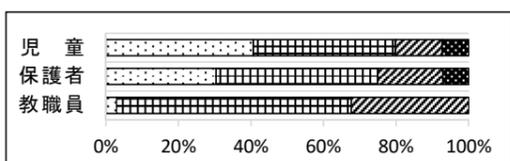
2 学校の授業が楽しいと感じている。



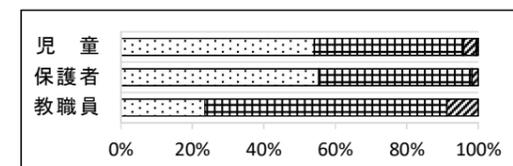
3 学力が身に付いている。



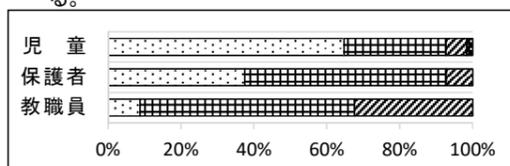
4 家庭で学習する習慣が身に付いている。



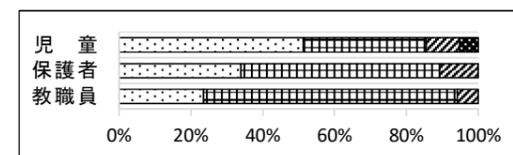
5 思いやりの心が育っている。



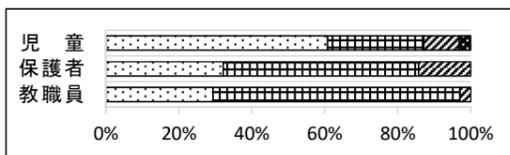
6 健康や安全に気をつける意識や態度が育っている。



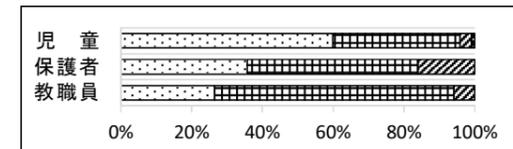
7 困ったときや悩んだときに、近くの大人(先生や保護者など)や友人に相談している。



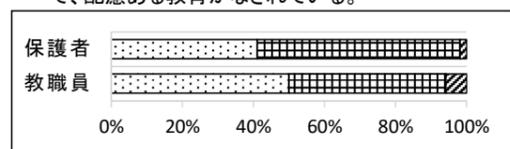
8 授業や行事を通して、体力の向上が図られている。



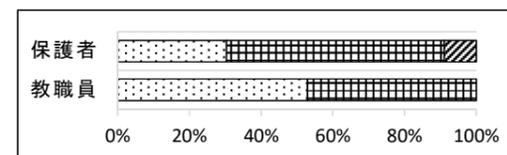
9 授業を工夫し、一人ひとりに応じた教育をしている。



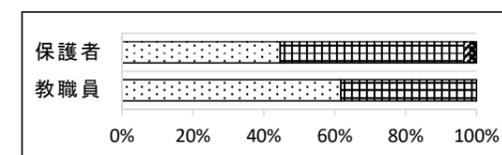
10 障害のある児童や特別な支援が必要な児童に対して、配慮ある教育がなされている。



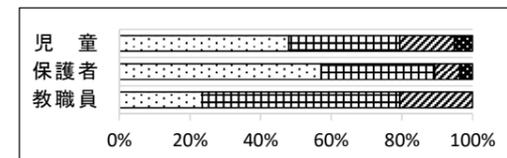
11 学校の行事や学習、生活の様子が、学校だよりや保健だより等でよく分かる。



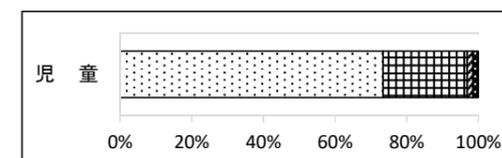
12 保護者へ親切・丁寧・迅速な対応をしている。



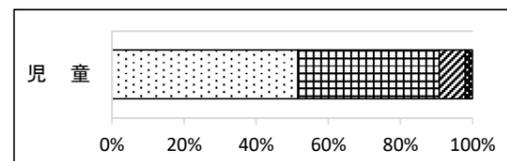
13 地域の行事に参加している。



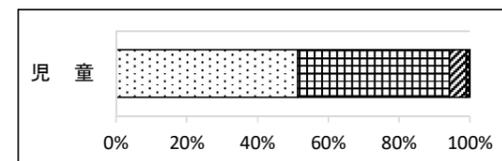
14 友達と仲良く活動している。



15 先生は、がんばったことやよくできたことをほめてくれる。



16 毎月の生活目標や、大久保小の約束を守って生活している。



### <考察>

全39の観点(質問項目16、児童・保護者・教職員)のうち29観点が昨年度から向上しており、概ねよい評価をいただくことができました。

・設問1「学校の生活が楽しいと感じている。」に対する児童の肯定的な回答が94%。設問2「学校の授業が楽しいと感じている。」に対する児童の肯定的な回答が93%と、昨年度と比べても、学校の生活や学習について前向きに捉えている児童が増えています。一方、否定的な回答をしている児童もあり、その理由を探っていかねばならないと考えます。同設問に対する保護者の肯定的な回答も昨年度より向上しており、児童が家庭で学校の話をする機会が増えたり、その中で学校生活の充実ぶりがうかがえたりしたのではないかと思います。

・設問3「学力が身に付いている。」設問4「家庭で学習する習慣が身に付いている。」に対して、自己評価の高い児童に比べ、保護者・教職員では否定的な回答の割合がやや高くなっています。家庭学習の習慣を「その日の宿題をこなす」と捉えるか、「自主学習など自律的な学習に取り組んでいる」と捉えているかで結果に開きがでていられると思われます。「学年×10分」の家庭学習の基準で、無理のない範囲で、家庭学習の習慣を、学校・家庭が一体となって身に付けさせていきたいと思えます。

・設問7「困ったときや悩んだときに、近くの大人(先生や保護者など)や友人に相談している。」に対して肯定的な回答をした児童が昨年度より10%増加しました。保護者、教職員の回答も向上しており、一人で抱えないことの大切さの理解や、相談できる体制・環境の整備がなされている表れと思われる。しかしながら、否定的な回答もある事実を注視し、改善を図ることも必要であると捉えます。引き続き教育相談体制の充実を図るなどしながら、児童が安心して生活できる学校づくりに努めていきます。

・コロナ禍で削減したり、簡略化したりした行事を再び行うことができないかというご意見をいただいております。今年度はコロナ禍以降にスタートさせた9月の土曜公開日の継続に加え、校内書きぞめ展を自由に参観できるようにしました。学校ファームをお世話していただき、子どもたちと野菜を収穫したり、1年生に昔遊びを教えていただいたりや以前にもまして地域の方にご協力いただいております。教職員、児童数ともに減少傾向にあり、元の形での開催が難しいところもありますが、他方、コロナ禍を経て得た新たな視点のよさもあると捉えています。来年度は、学校ボランティアを募集し、保護者・地域の方に一層のご協力をいただきながら本校の教育活動がよりよいものとなるよう検討してまいります。